



ROTARY
BRINGS
HOPE

ロータリーは
希望を
もたらす



会長 山口篤之助 幹事 松田士郎 クラブ奉仕 市川輝雄 職業奉仕 庄司嘉男 社会奉仕 布施隆夫 国際奉仕 中江 亮 青少年奉仕 塚原初男

出席報告：会員 76 名 出席 53 名 出席率 84.13 % 前回出席率 79.37 % 修正出席 55 名 確定出席率 87.30 %

会員スピーチ

パストガバナー国際ロータリー 253 地区の現状報告

石 黒 慶之助 君

去る4月2日より5日まで、会津若松での地区諮門委員会と、土浦において開催された255地区の年次大会に出席して参りました。

地区諮門委員会では、志藤ガバナー、ノミニーの来年度における奉仕活動計画の検討ということと、九里ガバナーより山形県内の外部拡大方針について今年度残された3ヶ月間にどうしても協調して実現したいというご意向を伺ってきた次第です。

只今ご依頼申し上げた3名(小池・中江・若生)の方々には大変ご苦勞をおかけするところではありますが、鶴岡と鶴岡西の両クラブで、もう一つ作れという固い命令でもありますので、よろしく願い致します。

土浦の大会は大変立派なのに驚きました。253地区は4,000人の会員ですが、鶴岡で大会となりますと1,300人位しか集まりませんが、土浦では4,000人も集まり、夫人が殆んど同伴で、夫人の出る場所も多く、エキスカッションにおいても、筑波学園都市見学や霞ヶ浦湖上遊覧などがあり、奥様孝行の大会でもありました。更に他の地区からの参加者も非常に多く、梁川からも3名の出席者がありました。会津は雪でしたが、土浦は桜花爛漫でした。ガバナーの大竹さんは土浦南R.C出身ですが、親クラブの土浦R.Cでは全員が挙げての支援で、非常に美しい光景でありました。たとえば鶴岡西が色々な会合を主催するというような場合、我々は共に協力しなけ

ればならないという感じがしました。大会で特に奇異に感じたのは千種会の小堀さんが“奉仕の実践”という中で言われたものに、現在のロータリーのやり方は間違っているということがあります。この千種会は、ロータリーの姿はこうあるべきということを理論的に研究している団体であります。この地区にも何人かの会員がいますが、この千種会の深川純一さん(伊丹R.C)の新人教育は非常に参考になりました。

その他、他の地区から松平一郎さん、佐藤千寿さん、蔵並定男さん……等々、有名な方が沢山出席しておられました。私も松平さんに“鶴岡へも一度おいで下さい”と言ったら、“チャンスがあったら行きます……。”と言われましたので、例えば30周年などにお呼びすることも可能のようです。

記念講演にNHKの木村太市さんによる「国際化の次に来るもの」があり、アトラクションに朝丘雪路オンステージがありました。

次に外部拡大について情報の提供をしたいと思います。

土浦にて、R.I支局の伊藤善久さんより世界の状況について聞いて来ましたのでお話いたします。

全世界的に見て日本のロータリーは10万人で、全世界100万人の10%に達しているが、地区としては28しかありません。インドは5万人で90の地区があるため、インドの発言が非常に強く、まことにおか

庄内空港の建設を推進しましょう

しな話であるということです。

山形と福島を早く分割するように、と指示されていますが、84クラブある253地区で山形はまだ34しかなく、40以上でない地区としての構成は難しいということです。九里ガバナーは今すぐに分割はないということで、40クラブ達成迄は呼びかけをやめて欲しいとの答弁であります。考えてみますと、11万の人口の会津若松に4 R.C、5万の人口の須賀川に2 R.C、6万の人口の相馬に2 R.Cということからすれば、10万都市の中に3 R.Cは当然で、4つあっても不思議ではない……と九里ガバナーは頑張っておられます。今後、山形、米沢、寒河江、新庄、

鶴岡、酒田に各1クラブの新R.Cが出来れば6つの拡大となり、丁度40 R.Cになります。難しいでしょうが拡大委員会の中で討議をお願い致します。新しいクラブを作ると自分の会員を分けるとか、募集に大変だという悩みが考えられますが、逆に新しいR.Cが出来れば活気も出て来るものと思われ、また1～2名の古い会員が新しい方に入ることも可能であり。チャーターメンバーにもなれます。新しいR.Cが出来、新たに若い方が沢山集まれば私共も負けてられないという気持ちで頑張るだろうと思います。いつれにしても拡大委員会の方々に十分討議をお願いしたいと思います。

会長報告

山口篤之助 君

1. 新聞紙上等で既にご承知の事と存じますが、会員の鶴岡建設株式会社社長の富樫良吉さんが、昨年9月より賜暇願いが出され入院療養中でありましたが、去る4月4日午前9時15分逝去されました。67才のまだまだの若さで悼ましい事で、心からご冥福をお祈り致します。クラブよりご香典と生花をお供えし、昨日お悔みに行き参りました。尚、お葬式は明日8日午前11時、睦町常念寺で行われますので、ご都合のつく方ご焼香下さるようお願い申し上げます。富樫さんのご冥福をお祈りして黙祷を奉げたいと思います。
2. 昨年10月に賜暇願いを出され休会されていた内山喜一さんがすっかり元気になられ、本日より出席されました。おめでとうございます。
3. 本日の定例理事会の決議事項を申し上げます。
 - (1) 前山形銀行鶴岡支店長加藤和一さんの転勤により雑誌委員長が空席になりますので、後任委員長に諸橋政樹さんをお願い致します。
 - (2) 会員増強について年度始めに80名以上の増強目標になってますので、是非ご推薦をお願いします。又、出席率も年度目標90%以上と致してありますが、残念ながら80%台に留まっています。皆様のご協力をお願いします。

幹事報告

板垣広志 君

1. 会報到着のお知らせ
東京 R.C・鹿児島西 R.C
2. 例会、時間、場所変更のお知らせ
酒田東 R.C
日 時 4月23日 6時より
場 所 妙法寺
登録料 3,000円

報告

次年度会長・幹事セミナー出席の報告

吉野 勲 君

去る4月4日、会長・幹事の研修セミナーが会津若松の平安閣で行われ、板垣幹事共々行ってまいりました。朝6時に出て、6時間かかり、随分遠いところという感じがしました。
志藤ガバナー・ノミニーより国際協議会の報告があり、次年度の運営基本方針要綱の発表や、3ヶ月後に迫った会長の心構えなどを教えられ、いよいよ迫り、責任の重大を感じ取って帰って来ました。
基本方針については後日詳細を報告することとし、本日はセミナー出席の報告のみいたします。
次に国際協議会、志藤ガバナー・ノミニーよりハガキを頂戴しましたので、ご披露申し上げます。

“ロータリアン——奉仕に結束——平和に献身”
ということですので、よろしくお願い致します。

委員会報告

社会奉仕委員会

布施隆夫君

(財)山新放送「愛の事業団」より推選の依頼がありましたので、報告方お願い致します。

この事業団は、恵まれない人に対し援助・助成を毎年行っているとのことで、当クラブに対しても、何か福祉、援助を行うようなものがあればご推選をお願いしたいという依頼です。理事会で出て来た中に、市役所からの依頼で、一人暮らしの老人に非常ペルを設置したいという要望があるそうです。現状では825世帯のうち69世帯の設置とのことですが、時々話題となるものに、一人暮らしの老人が死後一週間も誰にも気がつかれずにいたというようなこともあり、市役所としては、これを更に増やして行きたいという希望があるようです。これなどは対象になると思われま。会員の皆様の中に何かご推選頂けるようなものがあれば、4月21日迄にお願い致します。

出席委員会

佐藤 衛君

(1) 年間皆出席

24年間皆出席	石黒慶之助君
22 "	佐藤 忠君
20 "	三井賢二君
13 "	佐藤 衛君
4 "	斎藤 昭君
4 "	佐々木喆彦君
1 "	碓氷節雄君

(2) 3月100%以上出席 4名

140%	張 紹淵君
"	新穂光一郎君
120%	山口篤之助君
	松田士郎君

(3) 3月100%出席 46名

秋野・阿蘇・藤川・布施・平出・飯白・石井・石川・石黒・市川・飯野・黒谷・小池・小松・加藤

(和)・三井(賢)・三井(健)・嶺岸・迎田・松山・中江・中野・中沢・斎藤(隆)・佐藤(忠)・佐藤(順)・佐藤(衛)・佐藤(友)・菅原・鈴木(善)・鈴木(弥)・関原・庄司・佐々木・斎藤(昭)・丹下・手塚・塚原・忠鉢・田中・碓氷・若生・吉野・矢部・笹原・毛呂

親睦活動委員会

藤川享胤君

(1) 4月会員誕生

阿蘇司朗君・飯白祐佑君
村中文章君・新穂光一郎君

(2) 4月奥様誕生

市川芳子様・中江道子様
笹原郁子様・佐藤佐保子様
佐々木典子様

スマイル

佐藤陸男君 本日の昼食を皆様に喜んでいただけたものと……。

佐々木喆彦君 ・4月8日入園式があるので。(本年は募集人員が10名増え、またこれにより車1台、運転手、添乗員各1名増員)

・娘が高校に入学。

・3週間入院していた家内が退院。

布施隆夫君 佐々木さんへ新車を納入させていただいたこと並びに'86年度は皆様に愛顧を頂いたことにより。

松田士郎君 本日幹事を板垣さんに代って頂き。

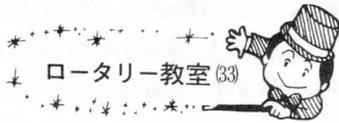
内山喜一君 本日よりクラブへ元気で復帰出来たことにより。

富田孝一君 店を改装オープンして。

笹原信一郎君 理由は特になか何となく。

ビジター

鶴岡西R.C 大川俊一君・児玉光弥君
鈴木昭吾君・村山 貢君
野口 弥君・松森昌保君



(第1402回例会会報より続く)

ロータリー小史 12

社会奉仕：ロータリーを時計にたとえれば、社会奉仕はぜんまいにあたります。クラブの大小をとわず、すべての国ですべてのロータリー・クラブが、社会奉仕活動をおこなっています。クラブ会員は、まず地元の社会がなにを必要としているかを探り求め、それに応えるために行動を起こします。それは地元の諸団体との協力でおこなわれることが多く、たとえば、クラブは交通安全対策活動、文化事業、環境美化運動、火災予防運動、障害者や老人への援助活動などを、実施しています。このように奉仕活動のリストは際限がなく、クラブ会員が創造力をはたらかせ、地域社会のためにつくしたいという意欲にもえているかぎり、その活動範囲に限界はありません。

国際奉仕：これはロータリーが世界理解と平和のために、強力で止まることのない力となっている分野です。ロータリーの国際性を語るには、毎年おこなわれる国際大会を例にあげるのがよいでしょう。国際大会にでてみると、ターバンを巻いたインド人が、スカートをはいたスコットランド人と談笑し、気軽なスーツ姿のアメリカ人が、いろあざやかなローブをまとったアフリカ人と肩をふれあっている姿をみることができます。また、次期の地区ガバナーの訓練のため毎年、国際協議会がひらかれますが、その本会議では、さまざまな国の言葉が同時通訳されています。イヤホーンを通じてみれるそのささやきもまた、ロータリーの国際性をゆたかに物語るものといえましょう。

「もし伝えたいメッセージがあるなら、人間にくるんで送れ」ということがよくいわれますが、国際

奉仕ではこれがとくにあてはまります。クラブや地区が諸外国に若い人々を派遣しますと、またその逆に、海外から外国の青少年をうけ入れる、というように、それ自体が大きな国際奉仕となるものです。そのほか、国際奉仕の活動はさまざまです。たとえば、ロータリー財団奨学生になるにふさわしい青年男女を推薦すること、保健、飢餓追放や人間性尊重のための諸活動をおこなう3-Hプログラムを支持すること、そして、世界社会奉仕に参加することなどがあります。世界社会奉仕とは、外国のクラブや地区が、企画している奉仕事業を援助することで、そのほかに、国際青少年交換に関与する方法もあります。

青少年奉仕：ロータリーによる青少年奉仕活動は四大奉仕のすべての部門にわたっています。「各ロータリアンは青少年の模範」というスローガンに、青少年のもつ可能性のすべてをひきだし、彼らを社会の責任ある創造的な一員として、成長させるのに協力するという、青少年奉仕の目標が、はっきりしめされています。ここでは、青少年のためというよりも、青少年とともに活動することが強調されているのです。

ロータリーがすすめている青少年プログラムには、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラ (RYLA ロータリー青少年指導者養成プログラム)、ラブ (ROVE ロータリー国際職業人交換) などがあります。

インターアクトの名前は、国際活動 international action からきたもので、これは奉仕と国際理解の増進につくす年齢14～18歳の若い人々 (高校生) による世界的組織です。ローターアクトは、会員の年齢が18歳から28歳までで、インターアクトと同じような世界的組織です。青少年交換で毎年数千人の若者が、ロータリー・クラブや地区の後援のもとに外国を訪問しています。自国の親善の使節として、彼らは滞在国の高校、大学で勉学しながら、その国の人人との国際理解増進につとめているのです。